

(令和2年6月試験研究業務月報)

業務課題：我が国周辺漁業資源調査・資源評価調査

情報

## 海洋調査船「平安丸」が気象庁長官から表彰

当センターでは、気象庁への協力として、平成22年度から毎年、年3回、京都府の沿岸から約200km沖合で、漂流型海洋気象ブイロボット<sup>※</sup>の放流を海洋調査船「平安丸」で行っており、得られたデータは気象庁の外洋の波浪予測に役立てられています。

この全国でも数少ない調査地点における長年の協力が、海洋気象業務に大きく貢献したとして、6月1日の第145回「気象記念日」に気象庁長官から表彰されました。

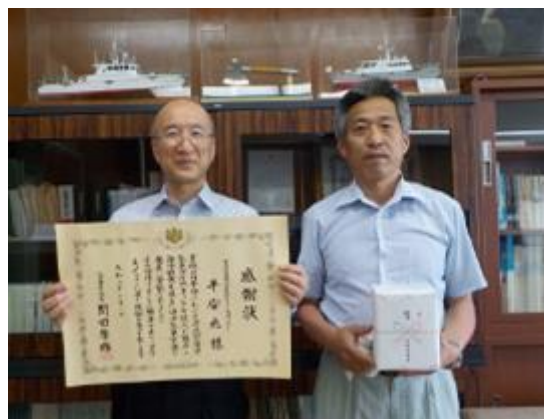
ブイロボットの放流は、当センターが概ね毎月実施している海洋観測に併せて行っており、今年も7月下旬の観測時から実施予定です。

ブイロボットにより得られたデータは、リアルタイムに気象庁のHP (<http://www.jma.go.jp/jp/wave/index.html>) から確認でき、当センターの研究のためにも、漁船の操業や商船の安全運航のためにも有用な情報となっています。

※ 気圧、水温、波高等の情報を通信衛星経由で観測位置とともに3時間毎に発信



ブイロボットと夜間の放流の様子



所長と船長、賞状と副賞を手に